発達障害と誤解に関するアンケート【発達障害当事者の方へ】

このアンケートは、「どうして、発達障害の特性を持つ私たちは、他人から誤解をされてしまうことが多いのだろう（※1）」という疑問を、少しでも明らかにしたいと思い、実施しています。

みなさまからいただいた結果は、私たち発達障害者の周りの方々にも「私たちが本当に考えていること」が伝わるように、工夫してまとめる予定です。

私たちの言葉や行動の意図を周囲の人に知ってもらい、発達障害者も周囲の人も、少しでもストレスを軽くすることができたら良いと考えていますので、ご協力をお願いします。

質問は19あります（サブの質問があるものもあります）。

回答におおよそ30分～40分程度かかります（人により大きく異なる場合があります）。

・本アンケート中の「発達障害者」は、発達障害特性のある人・発達障害の傾向のある人（※2）とし、診断の有無を問わないものとします。

・もしも負担に感じた場合は、途中で回答をやめても構いません。

・質問にあてはまることがない場合は、「なし」とご記入ください。

＊いただいたご回答は、今後冊子等に掲載することがあります。掲載したくない場合は、質問<19>欄にその旨ご記入ください。

＊発達障害者以外の方へは別のアンケートを実施しております。よろしければご紹介ください。

※1　例えば、「普通にふるまっていたつもりなのに、『表情が不自然』と言われた」「感想を言っただけだったのに、『言われた人の気持ちを考えて』と指摘された」「感覚過敏があるので配慮してほしいと伝えたつもりだったが、『わがまま、自分勝手』と言われてしまった」など；このアンケートでは、ご自身が誤解された（またはそれに近い）と感じられたことであれば全て含みます。

※2　「発達障害者」とは、発達障害（＝自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常低年齢において発現するもの）がある者であって発達障害及び社会的障壁により日常生活又は社会生活に制限を受けるものをいい、「発達障害児」とは、発達障害者のうち十八歳未満のもの（発達障害者支援法　第一章第二条（定義）より引用）

◎このアンケートは「2020 年度ファイザープログラム 心とからだのヘルスケアに関する市民活動・市民研究支援」のご助成を受け実施しています。

このアンケートには、以下のリンク（Google Form）からも回答できます。ご活用ください。

またよろしければ、このアンケートの周知にもご利用ください。

https://forms.gle/HSTAoUfmp9ES68T18

【Ⅰ．あなたについて】

1．名前（ニックネーム可）

2．年齢

□10代　　□20代　　□30代　　□40代　　□50代　　□60代　　□70代以上

3．性別

□男性　　□女性　　□その他　　□回答しない

4．診断名、または自己認識（自分にどのような傾向があると感じているか：例「不注意によるミスが多いと感じている」など）を教えてください。

5．発達障害の当事者会・自助会に参加していますか？

□　定期的に参加している

□　たまに参加している

□　参加したことがあるが今は参加していない

□　発達障害以外の当事者会/自助会（AA、精神障害の会、他の疾患の会など）に参加している

□　参加したことはない

【Ⅱ．コミュニケーションについて】

6．まわりの人たちと、話や行動が合わないと感じることはありますか？

□　まったくない　　　□　少しある　　　　□よくある

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

6-2．まわりの人たちと、話や行動が合わないと感じるのはどんな時ですか？よろしければ、エピソードを教えてください。

7．普段、人とのコミュニケーションについて、困っていることはどんなことですか？<複数回答可>

□　伝えたいことが伝わりにくい

□　相手の意図は理解したはずなのに、相手から「分かっていない」と言われる

□　相手の意図や考えが分からない

□　相手の表情や身振りが読み取りにくい

□　距離感がつかめない

□　疎外感がある

□　雑談が難しい

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

8．あなたが「人に誤解されてしまったエピソード」や「あなたの考えが、人にうまく伝わらなかったエピソード」を教えてください。

9．誤解されてしまったと分かったとき、どんな気持ちになることが多いですか？<複数回答可>

□　困る　　　　　　□　悲しい　　　　　　　　　　　□　つらい

□　悔しい　　　　　□　腹が立つ、いらいらする　　　□　もどかしい

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

10．人に誤解されてしまったとき、その後どのようにすることが多いですか？<複数回答可>

□　謝る　　　　　　　　　　　　　　　　　□　自分の本当の意図を説明する

□　他の人に頼んで、誤解を解いてもらう　　□　他の人に話を聞いてもらう

□　気分転換をする　　　　　　　　　　　　□　何もできなくなる

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

11．（質問10．で「気分転換をする」にチェックを付けた方へ）あなたの、気分転換をするための方法を教えてください。

12．「自分の言葉や行動の、相手にとっての意味が、自分ですぐにはわからなかった」という経験はありますか？（例：悪気なく、友達に『個性的な服だね』と言ったら、友達が泣き出してしまった。／Aさんの机にBさんの本があるのを見つけて取り（実際には、BさんがAさんに貸していたのに）Bさんに渡したところ「なぜ勝手にそんなことをするの」と怒られた。など）

□　まったくない　　　　□　少しある　　　　 □　よくある

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

12-2．「自分の言葉や行動の、相手にとっての意味が、自分ですぐにはわからなかった」のは、どんなことでしたか？よろしければエピソードを教えてください。

13．世の中で「常識」「ふつう」とされていることで、理解や共感ができないことを教えてください。（例：トイレにみんなで行くのはなぜなのか理解できない。など）

14．発達障害者がまわりの人たちに誤解されにくくなるには、どういうことが必要だと思いますか？　　<複数回答可>

□　発達障害者に対する、トレーニングや教育

□　発達障害者が、一般社会についての知識や理解を深めること

□　医療の進歩

□　福祉の充実

□　発達障害者が仕事をしやすい環境

□　発達障害者を支援する人たちのスキルアップ

□　発達障害者の身近な人たちが、発達障害者に関する知識や理解を深めること

□　一般社会における発達障害理解が進むこと

□　学校教育に発達障害当事者の視点を入れること

□　誤解されにくくなるのは難しいと思う

□　誤解されにくくなる必要がないと思う

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【Ⅲ．コロナ禍の影響について】

15．コロナ禍前と現在で、人とのコミュニケーションの頻度に変化がありますか？

□　人とのコミュニケーションが減った

□　人とのコミュニケーションが増えた

□　人とのコミュニケーションの頻度は特に変わらない

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

16．コロナ禍前と現在で、人とのコミュニケーションに関して変化がありますか？<複数回答可>

□　人とのコミュニケーションに制限が生じた

□　人とのコミュニケーションに不安が生じた

□　人とのコミュニケーションに関するストレスが増えた

□　人とのコミュニケーションに関するトラブルや問題が増えた

□　人とのコミュニケーションに関するストレスが減った

□　人とのコミュニケーションに関するトラブルや問題が減った

□　特に変化はない

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

17．コロナ禍前と現在での、人とのコミュニケーションに関する変化について、あなたのエピソードを教えてください。

18．（オンラインでのコミュニケーションを行ったことがある方へ）オンラインでのコミュニケーション（仕事上の会議や、友人との会話など）は、対面でのコミュニケーションと、どのような点が異なると感じますか。<複数回答可>

□　相手の考えていることや感情がわかりにくい

□　相手が2人以上いるとき、全員の様子を把握しにくい

□　話が頭に入りにくい

□　機器の操作に不安がある

□　ネットワーク環境に不安がある

□　録音や録画をされることに不安がある

□　話に参加するために、移動・時間の考慮などの準備が減り、助かる

□　服装など、気軽な雰囲気がある

□　遠方の人ともすぐに話せる

□　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

19．多数の質問にお答えいただきありがとうございました。書き足りないことがある方は自由にご記入ください。

＊別途、聞き取り調査や、メールでの補足質問を予定しております。調査や補足質問をご希望いただける方は、メールアドレスをご記入ください。（ご希望いただいても、ご連絡できない場合や、聞き取りを行えない場合もあります。予めご了承ください。）